

JR東日本グループの CSRにおける重要側面(マテリアリティ)

本報告書は、持続可能性報告書における世界的ガイドラインである「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」(G4)を参考に編集しています。ここでは、JR東日本グループのCSRの重要側面(マテリアリティ)について簡潔に説明します。

当社は国鉄改革を第一の出発点とし、東日本大震災を第二の出発点と位置づけて、今後企業グループとしてどのような役割を果たし、何を目指して進化を遂げていくのか、もう一度自ら問い直すこととして「グループ経営構想V～限りなき前進～」を策定しました(p7,8参照)。ここでは当社グループの方向性を決定する基本コンセプト「地域に生きる。世界に伸びる。」とともに、6つの重要な経営課題を抽出し、経営の重要な柱として設定しています。これが当社の基本的なマテリアリティとなります。

- 1 「究極の安全」に向けて～災害に強い鉄道づくり～
- 2 サービス品質の改革～鉄道ネットワークの拡充等～
- 3 地域との連携～震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化～
- 4 技術革新～エネルギー戦略の構築、ICTの活用、高速化～
- 5 新たな事業領域への挑戦～グローバル化～
- 6 人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

基本コンセプトのもとにこれら6つの重要課題を抽出し、経営環境に合わせて様々な施策を遂行していくことで持続的成長の実現を図っていくこととしています。なお、この重要課題を含む中期経営計画「グループ経営構想V～限りなき前進～」については当社の意思決定機関である取締役会に諮り内外に公表しています。

